

令和元年度 化学研究会 活動計画

1 指導体制

主顧問 加藤優太

顧問 中澤三郎、小原洋平、木村泰彦

外部指導員 土屋徹（元都立高等学校長 週2日）

佐藤涼（化学系企業勤務（OB）月1日）

2 年間目標

- ・ 化学に関する様々な実験を通じて、「ものみかた」、「ものの扱い方」を学ぶ。
- ・ 日々の活動を通じて、化学実験に関する技術を向上する。
- ・ 化学の実験を行い、互いに学び合うことによって、化学に関するセンスを養う。

3 指導方針

- ・ 活動は、原則平日週5日とし、必要に応じて、土日祝日に行う。
- ・ 生徒が主体的に活動し、顧問は安全面の管理と適宜指導助言を行う。
- ・ 知的好奇心を原動力に、各自が定めたテーマについて、継続的、継続的な研究を行う。
- ・ 学年の垣根を乗り越えて、互いに学び合い、高め合う。
- ・ 集団の中で、適切なコミュニケーション力を身につける。
- ・ 部誌「Research」にて、年間の研究成果を発表する。
- ・ 毎年1回以上、コンクールや発表会等で発表する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・ 顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・ 上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- ・ 外部指導員を活用して、本研究会の活性化を図る。
- ・ 土日祝日を中心に、OB、OGから研究の指導助言をしてもらうなどの支援を行う。

(4) 事故防止・安全への配慮

- ・ 個々の実験状況を適切に把握し、実験におけるケガや事故等がおこらないように、指導助言を行う。

5 部員数

	男子	女子	合計
1年	16	14	30
2年	14	3	17
3年	10	4	14
4年	5	2	7
5年	0	0	0
6年	0	1	1
合計	45	24	69

6 活動日及び活動場所

【活動日】 週5日

【休養日】 毎週 火曜日または木曜日 及び 土曜日又は日曜日のうち1日以上

【活動時間】

(平日) 16:00～18:00

(週休日等) 9:00～16:00

【活動場所】 化学室

7 大会等の主な記録（過去3年）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
日本学生科学賞 東京最優秀賞 日本化学会化学クラブ発表会	日本学生科学賞 全国入選3等 日本化学会化学クラブ発表会 都科学技術週間ふしぎ祭エンス	全国SSH発表会 審査委員長賞 日本学生科学賞 全国入選1等 日本化学会化学クラブ発表会 都科学技術週間ふしぎ祭エンス

8 年間（月別）活動計画（今年度の参加予定大会を含む）

月	週休日の活動日数	内 容
4	2回	生徒会部活動紹介
5	2回	研究で使用する試薬・器具の整理 安全指導 個々の研究計画の立案
6	2回	部内研究ディスカッション
7	2回	部誌「Research」作成開始
8	4回	創作展準備 SSH生徒研究発表会参加
9	4回	創作展 日本学生科学賞等のコンクールへの出品準備
10	2回	日本学生科学賞等のコンクールへの出品
11	2回	SSH東京都内指定校合同発表会準備
12	2回	SSH東京都内指定校合同発表会参加
1	2回	化学クラブ研究発表会予稿提出
2	2回	化学クラブ研究発表会準備
3	2回	化学クラブ研究発表会参加